

土門拳写真美術館 新ロゴ発表のお知らせ

2025年4月に土門拳記念館の呼称が「土門拳写真美術館」に変わりました。それに伴い昨年、新呼称に対応する新しいロゴ案の公募を行ったところ、計396組の応募者から655案の作品が寄せられました。当初は「最優秀賞（1組）」および「佳作（2組まで）」への授賞を予定しておりましたが、選外とするには惜しい力作が多数寄せられたため、急遽「審査員特別賞」を新設し、審査を行いました。

なお募集要項においては「2025年3月中旬頃の発表を予定」と告知しておりましたが、諸般の事情により発表が約3か月遅れたことをご詫言申し上げます。また審査は下記の審査員によって行われました。

〔公益財団法人さかた文化財団〕

村上幸太郎（理事長）、藤森武（学芸担当理事 / 2025年3月逝去）、池田青刃（理事 / 土門拳写真研究所）、伊藤俊治（理事 / 東京藝術大学名誉教授）

〔土門拳写真美術館〕

佐藤時啓（館長 / 美術家・写真家）、茂木春香（総務主任）、田中耕太郎（学芸員）、王憶冰（学芸員）

審査結果は以下の通りです。

●最優秀賞（土門拳写真美術館 新ロゴ）

作者：佐藤裕吾 氏（山形県）



土門拳写真美術館
Ken Domon Museum of Photography

コンセプト

今回のロゴの制作にあたり、すべてを一新するのではなく、土門拳記念館としてのこれまでの歴史や息吹を受け継ぎながらデザインすることを目指しました。

ロゴタイプは、40年にわたり土門拳記念館の顔として親しまれてきた亀倉雄策氏による銘板のデザインを継承しつつ、現代的で風通しの良いクリアな印象となるよう、新たに書体をデザインしています。組み合わせたシンボルマークは、酒田市が面する日本海の夕陽や土門拳氏の強い眼差しを表す半円をモチーフとし、明暗を反転することで「D」と「K」のイニシャルが浮かび上がるように設計されています。

土門拳氏の作品がさらに広く受け継がれていくよう、土門拳写真美術館の過去と未来をつなぐロゴマークとして機能して欲しいと考えています。

佐藤裕吾 / Yugo Sato

グラフィックデザイナー。1990年12月23日、宮城県仙台市生まれ。デザイン事務所勤務を経て2020年に独立。屋号は「ニツ目」。企業のブランディングから音楽のアートワークまで、幅広くデザインを手がける。現在は山形県山形市を拠点に、日本全国プロジェクトに参画している。

<https://futatsume.org/>



Press Release

▼佳作

作者：宮崎桂 氏（東京都）

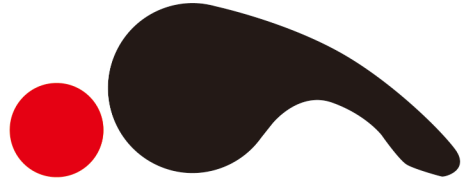


土門拳写真美術館

Ken Domon Museum of Photography

▼佳作

作者：内藤正徳 氏（静岡県）

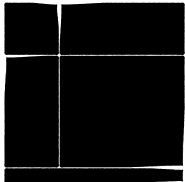


土門拳写真美術館

Ken Domon Museum of Photography

▼審査員特別賞

作者：西谷伶 氏（東京都）



土門拳写真美術館

Ken Domon Museum of Photography

▼審査員特別賞

作者：小林要子 氏（東京都）



土門拳
写真美術館

▼審査員特別賞

作者：高田研吾 氏（愛媛県）



土門拳写真美術館

Ken Domon Museum of Photography

▼審査員特別賞

作者：津田吉男 氏（神奈川県）



土門拳写真美術館

Ken Domon Museum of Photography

▼審査員特別賞

作者：クリエイティブLab
浅岡真人 氏（山形県）



土門拳
写真美術館

Ken Domon Museum of Photography

▼審査員特別賞

作者：立松まゆ子 氏（愛知県）



土門拳写真美術館

Ken Domon Museum of Photography